

事業 優先順位	2 細事業:ごみ減量化・資源化の推進事業				整理 番号	01				
目的	協議会に加入し、廃棄物の減量化、資源化推進のための広域的な事業活動、研修会、啓発活動に参加することにより、 当市におけるごみ減量化・資源化推進事業の向上を図る。									
目標	協議会に加入し、廃棄物の減量化、資源化推進のための広域的な事業活動、研修会、啓発活動に参加することにより、 当市におけるごみ減量化・資源化推進事業の向上を図る。									
事業 実施主体	直営	事業開始 年	平成23年度	根拠 法令						
事業費・財源		平成25年度	平成24年度	比較		平成25年度	平成24年度	比較		
	事業費 (決算額) (千円)	573	329	244	コスト 情報・従事 職員数	総コスト (千円)	4,385	2,710	1,675	
	一般財源	573	329	244		内訳	事業費	573	329	244
	国府支出金	0	0	0		人件費	3,812	2,381	1,431	
	地方債	0	0	0		公債費	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0		一人あたり (円)	39	24	15	
		0				世帯あたり (円)	93	57	36	
		0				参考	職員数 (人)	0.50	0.30	0.20
						再任用職員数 (人)	0.00	0.00	0.00	
今後の 方向性	もったいない市の品目拡大等を検討する。									
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	市内全域					
	A	A	A							

廃棄物減量等推進審議会発足記念講演会の模様 (H23)



## 細事業：ごみ減量化・資源化の推進事業

### 1. 廃棄物減量等推進審議会

一般廃棄物の減量化等の対策を実効あるものとするを目的として、廃棄物減量等推進審議会※会議を1回開催した。

※ 廃棄物減量等推進審議会

… 一般廃棄物の減量化等の対策を実効あるものとするを目的として、学識経験者、公募市民、事業者など12人で構成された組織のこと。

#### ●廃棄物減量等推進審議会委員構成

	区分	人数
1	学識経験者	2人
2	事業者	4人
3	市民団体の代表者	2人
4	関係行政機関	1人
5	公募市民	3人

※ 委員総数12人のうち女性委員が6名（50%）占めている。

### 2. 陶磁器製・ガラス製食器リユース・リサイクル事業

家庭で不要となった陶磁器製・ガラス製食器を回収し再使用（リユース）、再利用（リサイクル）を行うことで、ごみの減量とリサイクルの推進を図った。

また、市役所1階市民サロン等で「もったいない市」を開催し、大勢の来場者で賑わった。

回収量			リユース	リサイクル	廃棄処分
資源選別作業所	もったいない市	計			
9,996.42 kg	2,605.94 kg	12,602.36 kg	4,258.37 kg	5,890 kg	1,022.41 kg

※ もったいない市

家庭で不要となった食器を回収し、使えるものをその場で陳列し、欲しい人が無料で持ち帰ることができる取り組みのこと。